

# 平成 29 年度事業実施報告書

(平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで)

はじめに

平成 29 年度は主要な食育推進活動である調理講習会及び親子料理教室を全国で実施するとともに、機関情報紙「すこやか情報便」第 21 号「これからの学校に求められる食育推進の P D C A」を作成しました。学校給食用優良食品の開発研究に関しましては、全学栄製品学校給食用非常食の開発支援と普及及び全学栄関連製品の開発・改良に努めました。さらに、ホームページの大幅な見直しを図り、有力なコミュニケーションツールと位置付けて刷新を完了しております。

「すこやか情報便」第 21 号は昨年 3 月に文部科学省より発行された冊子「栄養教諭を中核としたこれからの学校の食育」をいかに学校現場で実践していくかについて、学校給食調査官および食育調査官にご参加頂き、座談会を実施した内容を取り纏めて参りました。また、各学校で広く活用頂きたいとの思いから、全国すべての公立小・中学校、特別支援学校約 31,000 校に配布しました。その結果、大きな反響が寄せられ、各種研修会等で活用したいとの追加送付の依頼も数多く、幅広い有効活用につながっています。

公益社団法人全国学校栄養士協議会との共同開発による災害時学校給食用非常食については、全てのインフラが停止した状態でも、アレルギー 27 品目不使用のものが食べられる事をコンセプトに開発した従来からの「救給カレー」、「救給根菜汁」に加えて、本年 1 月「救給コーンポタージュ」を発売しました。

また、次なるテーマとして「救給和風ご飯もの」の開発に着手するとともに、全学栄製品・全学栄すいせん製品の開発改良に積極的に取り組んで参りました。

また、協会のホームページにつきましては、最新情報をリアルタイムに発信することを目指して、新たな制作会社との協議を重ねて参りましたが、本年 3 月に新たなホームページが完成しております。

詳細については、以下のとおり報告致します。

## 公 1 食育推進事業

### I. 食育の推進に関する活動

#### 1. 普及活動

##### 1) 調理講習会

開催状況： 21 都道府県 25 ケ所 参加者 968 名  
(前年実績：18 都道府県 23 ケ所 790 名)  
実施状況及び実施報告は別紙の通りです。

##### 2) 親子料理教室

開催状況： 24 都道府県 79 ケ所 参加者 3,137 名  
(前年実績：24 都道府県 85 ケ所 3,452 名)  
実施状況及び実施報告は別紙の通りです。

##### 3) 講師の紹介及び派遣

(公社)全国学校栄養士協議会や(公財)都道府県学校給食会及び各地の教育委員会からの要請により研修会や調理講習会等に講師の紹介及び講師を派遣しました。

## ○講演講師の紹介

<講師> 順天堂大学医学部小児科非常勤助教・医学博士 本田由佳氏

テーマ 「ライフステージに併せたスポーツと栄養について」

日時 平成 29 年 6 月 9 日

主催 千葉県安房保健所管内栄養士会 参加者 約 80 名

会場 とみうら元気倶楽部

<講師> (公財)学校給食研究改善協会 技術顧問 近藤 智氏

テーマ 「H A C C P 制度について」

日時 平成 29 年 8 月 9 日

主催 岡山県学校給食共同調理場連絡協議会 参加者 約 70 名

会場 ピュアリティまきび

<講師> (公財)学校給食研究改善協会 管理栄養士 酒井淳子氏

テーマ 「これからの学校給食のあり方について」

日時 平成 29 年 12 月 12 日

主催 つくば市学校給食会 参加者 50 名

会場 つくば市すこやか給食センター豊里

## ○調理講習会への講師派遣

<講師> 管理栄養士 酒井淳子氏

山梨県、愛媛県、秋田県、島根県、広島県(東広島市)、和歌山県

<講師> 管理栄養士 稲葉真貴子氏

佐賀県、新潟県、岡山県、広島県(廿日市市)、神奈川県

<講師> 管理栄養士 中野はるか氏

高知県

## 2. 広報活動

### 1) 機関情報紙「すこやか情報便」の発行

本機関紙は子ども達の心身のすこやかな成長を基軸に据えて、学校給食および食育に関する情報を、学校給食関係者、その他多くの人々に広報し、提供しています。学識経験者・専門医・栄養教諭などによるレベルの高い座談内容をコンパクトにまとめて、分かりやすく発信していることから、養成大学指導資料、講演会資料、保護者配布資料、教育委員会配布資料等、幅広く活用され、高い評価を得ております。

「すこやか情報便」第 21 号 (平成 29 年 12 月 27 日発行)

『これからの学校に求められる食育推進の P D C A』

～食育推進体制と食育の評価を中心として～

20 号に引き続いて食育の推進に焦点をあて、平成 29 年度 3 月に文部科学省より発行された「栄養教諭を中核としたこれからの学校の食育」をいかに学校現場に浸透させていくか、学校長としての組織作り・栄養教諭の在り方・食育推進の評価の在り方等、文部科学省・教員養成大学・学校長・栄養教諭等、それぞれのお立場からの発言内容及び、最新データ・資料を盛り込んで作成しております。最新の情報誌として、教育委員会から評価を頂き、先生方及び管理職の研修会資料として活用されております。

<座談メンバー> (敬称略)

文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課	学校給食調査官	齊藤るみ
文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課	食育調査官	横嶋 剛
国立大学法人福岡教育大学大学院教育学研究科	教授	脇田哲郎
新潟県村上市立保内小学校	校長	二平芳信
岐阜県七宗町給食センター	栄養教諭	臼田典子
福井県越前町立宮崎小学校	栄養教諭	佐藤佳代
<コーディネーター>		
公益社団法人全国学校栄養士協議会	会長	長島美保子

## 2) 「日本の学校給食」パンフレット4ヶ国語版の活用

日本の学校給食パンフレットは日本語版に続いて、英語版・中国語版・韓国語版を作成しておりますが、世界一と言われる素晴らしい日本の学校給食の取り組みを、様々なルートを通じて国内外に幅広く広報発信いたしました。

## 3) ホームページのリニューアル

学校給食関連の最新情報の発信及び見やすいホームページに向けて、従来のホームページを見直して参りましたが、最も重要な当協会の顔としてしっかり構成し作成するために、制作会社を慎重に選定して取り組み、平成30年3月9日に全面刷新しました。

## 4) ニュースレターの拡充

今年度も引き続き「改善協会ニュースレター」として年10回、全国約300名（含む、法人）の学校給食関係者および学校給食関係者以外の人々に対し、協会内で吟味した学校給食や食育に関する情報を提供してまいりました。

## 5) 学校給食・食育をテーマとした各種大会への参加

下記のイベントや大会に紙芝居及び救給カレーを展示し、食育の推進に努めました。食育推進全国大会では学校給食関係者以外の一般の方々にも広く学校給食の現状を知らせ、食育の普及に努めました。

また、関連する研修会、講演会各種セミナーにも積極的に参加して研鑽を積み、活動内容のレベルアップに繋げて参りました。

さらに、絵画については月刊誌に定期的に掲載頂きました。

### 【平成29年度に参加した各種大会】

キッズフェスタ	(春:5月20日 秋:10月28日 東京都)
第12回食育推進全国大会	(6月30日~7月1日 岡山県)
第58回全国栄養教諭・学校栄養職員研究大会	(8月3日~4日 石川県)
野菜フェスタインWAKAYAMA	(8月27日 和歌山県)
フードシステムソリューション2017	(9月13日~15日 東京都)
第68回全国学校給食研究協議大会	(11月9日~10日 鹿児島県)
平成29年度文部科学省主催学校給食週間行事	(平成30年1月)

※上記の催事にて、すこやか情報便、日本の学校給食パンフ等を配布しました。

## II. 学校給食事業に関する助成

下記の団体に対し事業運営費の助成を行いました。

1. (公社) 全国学校栄養士協議会 (会長 長島美保子)
2. (一社) 日本学校調理師会 (会長 吉田美智江)
3. 栄養教諭食育研究会 (会長 金田雅代)

## III. 学校給食の状況に関する調査研究等の活動

1. 中学校における給食実施率の向上に向けて、各種情報を発信  
本年度は中学校給食の実施率の低い政令指定都市の実態及び各都道府県の最新取り組み状況を取り纏めて参りました。今後も各方面にご活用いただけるよう最新情報を発信して参ります。
2. 海外の学校給食事情視察研修は、対象候補となる地域、状況などの情報収集を行ないましたが、昨今の治安状況を鑑み、実施には至りませんでした。
3. 給食関係者との連携強化

品質等調査研究員(モニター)制度「任期2年」は、(公社)全国学校栄養士協議会の協力を得て47都道府県の栄養教諭・学校栄養職員の先生方の中からモニターを担当して頂き、学校給食の食材等に関する意見や提言を受ける制度です。  
9回目の今期(平成28年4月～平成30年3月)の前期平成28年4月～平成29年3月は220件の報告、後期平成29年4月～平成30年3月は152件の報告を頂いており、合計で372件の報告を頂きました。  
8回目の合計報告件数が229件でしたので、162%の伸びとなりました。

## IV. 給食物資に関する調査研究並びに供給

1. 学校給食用優良食品の開発研究
  - 1) (公社) 全国学校栄養士協議会との共同事業である災害時の学校給食用非常食の開発については、第2弾洋風汁物「救給コーンポタージュ」を30年1月に発売しました。
  - 2) (公社) 全国学校栄養士協議会と併せて実施している全学栄製品・全学栄すいせん製品の開発改良の取り組みについては、6年ぶりの全学栄すいせん製品として「蒸し挽き割り大豆」を開発し、次年度より発売して参ります。
2. 全学栄製品・全学栄すいせん製品の変更内容と工場査察実施状況

本年度は(公財)全国学校栄養士協議会理事会において、6件の全学栄製品及び全学栄すいせん製品の製造工場変更、配合変更等とともに、新たな全学栄すいせん製品一品の承認を頂きました。(承認順)

- ・全学栄すいせん製品「白花豆&白いんげん豆ペースト」製造工場変更、配合変更  
製造工場の変更：マルハニチロ(株) ⇒ (株)トミイチ

配合変更：製造工場変更により一部配合を変更

- ・全学栄すいせん製品「スクールかに」生産休止  
原料の水揚げ量の減少と原料価格の高騰により原料調達が出来ない状況
- ・全学栄すいせん製品「菜の花ふりかけ」の改良  
アレルギー「さば」と「鶏肉」の除去
- ・全学栄すいせん製品「学校給食用カルシウム米」の改良  
アレルギー「卵」「乳」「小麦」の除去
- ・全学栄すいせん製品「減圧殺菌乾燥しいたけ」休売  
製造メーカーである八尋産業(株)業務停止の為
- ・全学栄すいせん製品「うの花コロッケ」(ひじき入り)製造工場変更及び配合変更  
製造工場の変更：北陸冷蔵(株)⇒サンレイ食品(株)変更  
配合変更：製造工場変更により一部配合を変更
- ・全学栄すいせん製品「蒸し挽き割り大豆」の承認  
豆嫌いの子ども達にも違和感なく大豆を摂取でき、様々な献立に使用可能

また、「全学栄関連製品 製造工場認定基準」により、5 メーカー、5 工場の製造工場  
査察を実施しました。

- ・恩納村漁業協同組合 工場名：自社工場 平成 29 年 6 月 14 日  
「全学栄すいせん製品美ら海育ちもずく」
- ・(株)ソイフード 工場名：町田食品(株)第 6 工場 平成 29 年 9 月 19 日  
「全学栄すいせん製品スクールがんどき」
- ・日本レトルトフーズ(株) 工場名：自社工場 平成 29 年 10 月 26 日  
「全学栄すいせん製品蒸し挽き割り大豆」
- ・サンレイ食品(株) 工場名：自社工場 平成 29 年 11 月 28 日  
「全学栄すいせん製品白花豆コロッケ」
- ・ホクレン農業協同組合連合会 工場名：(株)トミイチ 平成 30 年 1 月 24 日  
「全学栄すいせん製品白花豆&白いんげん豆ペースト」

### 3. 学校給食用脱脂粉乳供給事業

米飯給食の増加に伴いパン給食の頻度が減少し、それに伴い脱脂粉乳の使用量は年々減少している中での事業運営ですが、29 年度の買い入れは①継続的な国際市況安、②設定レートに対して円高が継続したこと、③競争入札による輸入諸掛や物流費の低減により、これらの原価低減メリットは配分先の各県に期末還元を行いました。

今年度は 6 つのブロックの推進委員の改選期にあたり、新たな推進委員を対象にオセアニア市場研修を実施しました。

また、九州ブロック・東北ブロックにおいて、脱脂粉乳取扱い要領講習会を実施し、受講者に様々な知識を付与すると共に、税関等の関連機関との情報交換を図って参りました。

さらに、国会では学校給食用脱脂粉乳を国産化することについての質問がありましたが、文部科学省はじめ関係各所のご指導により、次年度以降も継続して関税割当制度が維持されることになりました。

#### 4. その他関連団体との協業

学校給食に関する様々な取り組みを文部科学省、(公社)全国学校栄養士協議会、全国学校給食会連合会、(公財)都道府県学校給食会、(一社)Jミルク、(一社)日本学校調理師会、その他関係諸団体と協業し推進して参りました。

#### V. その他

「学校給食普及改善委員会」を開催

学校給食普及改善委員の先生方にお集まり頂き、年1回の定例会を平成29年12月9日に実施しました。

すこやか情報便21号の配布状況及び非常食の取り組み状況について説明、改善委員の方々からもご意見を頂きました。

また、すこやか情報便の次号のテーマ案について事前にご提出頂いたシートをもとに、積極的な意見交換を行い次号の方向性を確認し、たいへん意義のある充実した内容の会議となりました。

#### 公2 国産食肉需要構造改善対策事業

本年度は(独)農畜産業振興機構の公募を見送りました。